

令和4年度

年度学校評価書

令和5年2月7日(火)



生活科:秋のおもちゃづくり (11月:1年生)



生活科:栗盛図書館見学(11月:2年生)



社会:消防署見学(12月:3年生)



外国語活動:オリジナルのカレーを作ろう(11月:4年生)



タイフェスティバルでのひまわり商品販売(11月:5年生)



横浜市立六浦小学校とのオンライン交流会(12月:6年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価日の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	前期	おおむね良好	HPやブログ、フェイスブック等の活用で学校の様子を発信していることは、保護者にもうれしいこと。今後も続けてほしい。保護者が学校に連絡を取りやすい雰囲気がある。幼保小中の連携は素晴らしい。このままの姿で続けてほしい。
	年度	良好	授業参観から、教師と子どもの関係が良好であることがうかがえる。学校運営が順調に行われていることが分かる。学校からの情報発信がよくなされている。幼保小中の連携は、子どもたちに好影響を与えている。今後も継続してほしい。運営に関して、学力を高めていくために、子どもの実態に即して身に付けたい力を明確にしたものを、その焦点化したものを学校、子ども、保護者等が共通理解できるようにSNSを活用できれば更に効果が高まると思われる。
学校評価の概要と策	【前期(一年度)】1(2)に関して→以前から申請していた大・小プールの修繕を行うことができた。小プールが使えるようになり、低学年児童が安全に楽しく水泳学習を行うことができた。校地内の桜の樹が老朽化し、枝折れや落下が目立った。事故が懸念されたが、グラウンドや校庭前の危険な枝を伐採することができ、安全な環境が整った。今後も保護という面も考えながら環境を整えていきたい。2(3)に関して→これまでのホームページやブログでの情報発信に加え、メール配信システムを活用して行事の開催や延期のお知らせも行ってきた。紙媒体よりも目にしやすく、より一層周知が図れるようになってきている。2(4)に関して→昨年度に引き続きクラブ講師や校外学習の付添等に地域の方々から協力をいただいたが、今年度は1年生の給食準備の手伝いや本校卒業生による夢授業も行うことができた。今後は読み聞かせや丸付け先生、学習支援ボランティアという形で、地域の教育力を活用し、子どもたちの豊かな学びにつなげていきたい。		
	【年度(一次年度)】1(2)に関して→校地内の桜について、3年生を対象に樹木医を招いて学習会を行った。殆どの木がテングス病に侵されていることが分かったため、12月には地域や保護者の方々、本校職員を対象とした剪定方法の学習会を行った。今後は児童による施肥や、地域や保護者の方々、学校職員による剪定などを行いながら保護していく予定である。また、次年度春には植樹も予定している。2(5)に関して→引き続き向陽こども園、釈迦内保育園との交流を行った。秋には5年生と一緒に稲刈りを行ったり、1年生の生活科授業に年長児を招いて学習を行ったりと、これまで以上に交流を深めることができた。また、本校職員による保育参観や研究協議への参加、保育士との共同授業、本校研究会への参加など、児童だけでなく職員同士の交流も深めスムーズな連携に努めた。今後は幼保小で育てたい力を明確にし、共通理解のもとさらに連携を進めていく予定である。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	3	4
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修		
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログ、フェイスブックでの発信 ・諸行事の案内	3	4
	(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換、地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
	(5) 幼・保・小・中との連携	・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流 ・授業参観、保育参観、連携研究会の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

[1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること] 樹木医による桜の枝剪定講習



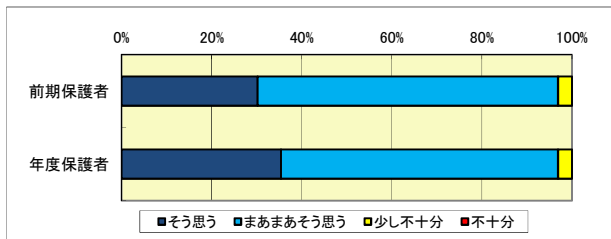
[2(5)幼・保・小・中との連携に関すること] 1年生活科における交流授業



生活科「あきのおもちゃをつくらう」で、向陽こども園、釈迦内保育園の年長児を招き、手作りおもちゃで遊んだ。授業は1年担任と保育士が合同で進めた。

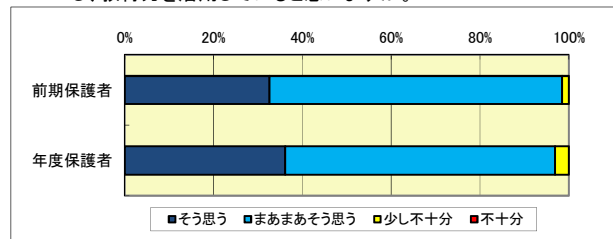
[2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関するデータ]

- 学校報、学年だより、学校ブログなどは学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていると思いますか。
- 家庭へ定期的・効果的な情報発信を行っていますか。



[2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]

- 学校は、PTA活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思いますか。
- PTA活動や行事、各教科等で、保護者や地域、関係諸団体と連携し、教育力を活用していると思いますか。



家庭への定期的・効果的な情報発信



PTA講演会
教育研究所副主幹 山本多鶴子氏
子育て講演
「思春期の子どもたちへの関わり」

関係諸団体との連携強化と教育力の活用



6年総合的な学習の時間
大館市地域おこし隊
ひまわり油販売に生かす「あいさつ・接客講座」



昼読書の時間
読み聞かせボランティア「おはなしの森」
1～3年生対象本の読み聞かせ

学校評価と学校関係者評価の評価	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

II 特色ある学校づくり

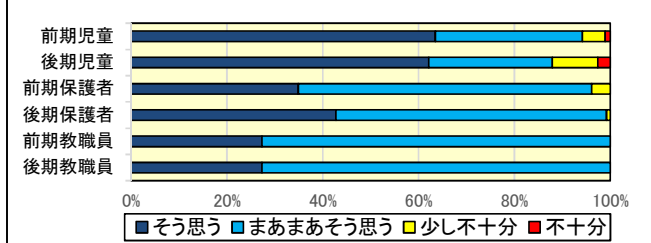
児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	前期	良好	良好	ひまわり活動の成果や目指す子ども像をどこまで求めるかによって見方が変わるが、子どもへの負担を考えたとき、現状がよいのではないだろうか。ひまわりを育てるだけでなく、主体的な活動に結び付けたことで教育的効果が高まってきている。子どもの考えで進めた「花火」も発信力や表現力育成に役立っている。今後も、職員の共通理解のもと進めていってほしい。
	年度	良好	良好	ひまわり活動等、点として行われていた教育活動が、線となり他の教育活動とつながりをもちはじめている。ここでも、子どもに身に付けさせたい力を明確にし、各教科、キャリア教育等と連携させ焦点化させることで更に充実するものとする。「ひまわり活動」について、保護者アンケートでは「先生方ががんばりと」記されているが、花火の打ち上げやタイフェスティバルでの販売など、子どもたちの思いが生かされた主体的な活動になっていると判断する。さらに、途切れかけたひまわり活動が、また、軌道に乗り始めていることは大いに評価できる。今後も、先輩から後輩へバトンタッチさせながら人間形成に役立ってほしい。
学校評価の概要と改善策	【前期(一年度)】3(6)に関して→今年度、「ひまわり活動の年間計画」と「ふるさとキャリア教育年間指導計画」を作成した。計画の中に、活動を通して付けたい力を明示したり、各教科との関連を示したりして、児童の発想や思いを生かす方法を探ってきた。今後は、感謝祭や販売活動など他者との関わりを通して一人一人の良さを積極的に認め、児童の活躍の場を広げられるよう取り組んでいきたい。3(7)(8)に関して→「ひまわりで釈迦内にパワーを！」という目標に向かって、地域の方の名前を書いた「たすき」を作成して名前を呼んで交流できるようにしたり、花火を打ち上げて地域の方にパワーを届ける計画を立てたりと、児童の発想や思いを大切にして活動を進めてきた。地域の方や異学年との交流を通して、助け合ったり、感謝の気持ちをもったりする姿が見られる。2学期に予定されているひまわり感謝祭を通して、感謝の気持ちを伝える機会を設けるとともに、各学年の活動を頑張った良かったと思えるような充実感をもたせ、前向きに挑戦しようとする子の育成につなげたい。			
	【年度(一次年度)】3(6)に関して→夏休み中に「ふるさとキャリア教育年間指導計画カリキュラム表」の見直しを行い、児童の実態を基に2・3学期の計画を立案した。3年生は、総合的な学習の時間と国語科を関連させて、販売活動についてポスターにまとめたり、5年生は、社会科と関連させて、他県の特色について調べたりするなど、各教科等との関連を意識して取り組むことができた。来年度はカリキュラム表を拡大して校内に掲示し、児童にも学習や行事への見直しをもたせたり、学びのつながりを実感できるようにしたりしていく。3(7)(8)に関して→FM大館での広報活動や販売ポスター製作など、各学年で、各教科と関連付けた活動を行うことができた。5年生は在庫の販売方法についての話し合いを行い、実際に販売活動に取り組んだことで、来年度に向けた話し合いをスタートさせることができた。来年度は、児童が考えたテーマと、そのテーマに至った経緯についても地域・保護者に伝えることで、児童の思いも知ってもらえるよう取り組んでいきたい。また、各学年の活動についても、児童の思いも併せて紹介し、地域・保護者の方に知っていただく機会を増やしていきたい。			

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 ふるさととつながるひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント	4	4
	(7) なりたい自分をイメージできる活動	・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)	4	4
	(8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・児童の発想や願い、問いを生かした児童主体のひまわり活動 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト		

○児童 □保護者 ■教職員

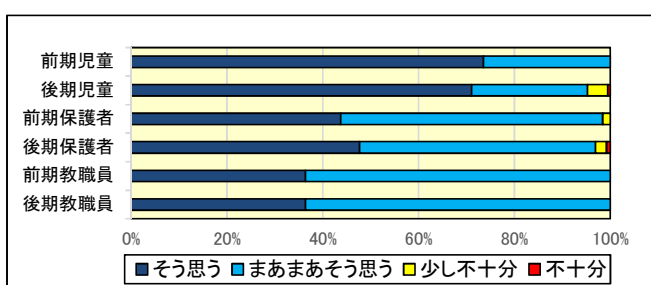
[3(6)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]

- ひまわり活動を通して、友達や地域の人、周りの人々の良さを見つけることができましたか。
- 学校は、児童の発想や願い、問いを生かして、児童主体のひまわり活動を行うことができていると思いますか。
- 付けたい力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふるさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。



[3(7)(8)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]

- ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。
- 学校は、異学年や保護者、地域の方々との交流を通して、児童に自分を成長させようという気持ちや、協力してくれる方々への感謝の気持ちを育むことができていると思いますか。
- 児童の発想や願い、問いを生かして、ひまわり活動や、生活科・総合的な学習の時間に位置付けた各学年の活動を行うことができていると思いますか。また、異学年・地域の人・保護者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげることができていると思いますか。



FM大館での広報活動(6年生)



販売ポスターの製作(3年生)



タイフェスティバルでの販売(5年生)



学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	児童総会や代表委員会が自分たちの課題について解決策を話し合った経験が、全ての教育活動に結びつつある。これを継続させてほしい。
	年度 おおむね良好	おおむね良好	保護者も評価委員も、子どもたちのあいさつがレベルアップしたと実感している。さくらんジャーについては慣れのため、形骸化されていないか確認する必要があるのではないか。キャッチフレーズも整理して焦点化してはどうか。自己有用感、自己肯定感が育まれるよう、異学年交流や児童会活動の充実を期待する。

学校評価の概要と善策

【前期(一年度)】4(9)について→今年度「さくらんジャーの合い言葉」を設定し、朝の会では「あいさつ」「右側歩行」「言葉遣い」について、帰りの会では「交通ルール」についての合い言葉を斉唱する機会を設けて基本的な生活習慣づくりの意識化を図るようにした。今後は、児童の生活の様子を見取り、頑張りや称揚して生活習慣の定着を目指していきたい。4(10)4(12)について→学校経営の合い言葉になっている「ありがとう」の気持ちを伝える取組(ありがとう貯金)を実施した。児童が感謝の気持ちを書いたカードを昼の放送で全校に紹介し、学級や学校全体でその児童のよさを共有したことで、自他のよさを見付けたり、友達の頑張りや称揚して称賛したりする姿が見られるようになってきた。4(11)について→主体的な児童会活動を進めるために、学校生活についてアンケートを行い、前期児童総会や代表委員会等で課題や解決策を話し合った。2学期に再度アンケートを実施して、現状把握と課題を確認し、後期の児童会活動につなげていきたい。4(13)について→3年ぶりに交通安全教室で自転車の実地訓練を行うことができた。現在大きな事故等はないが、今後も安全に自転車に乗れるように乗り方や交通ルールの注意喚起を行いたい。

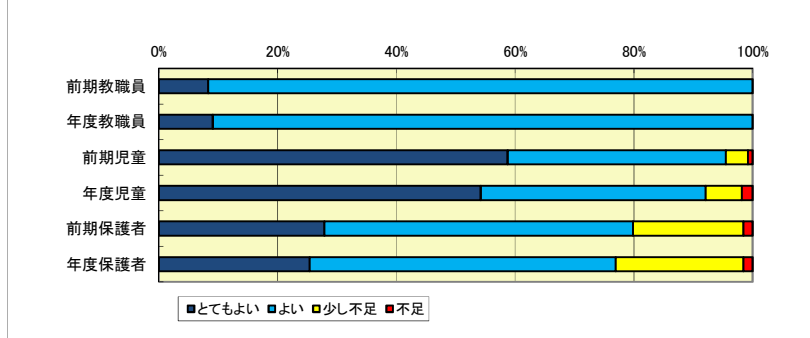
【年度(一次年度)】4(9)(13)について→「さくらんジャーの合い言葉」は、朝の会や帰りの会で確認したり、全校集会で確認したりする機会を設けたことで次第に子どもたちに浸透してきているように思う。しかし、実際の登下校の場面になると意識が薄くなってしまい、特に下校時は合い言葉を守っていない子が多いと感じる。今後は、下校時に見守りを行うなどの取組を工夫し、安全に登下校できるようにしていきたい。4(10)(11)(12)について→いいの日は設定し、異学年交流する機会を設けた。特に低学年は上学年と遊ぶことを楽しみにしていて、異学年間の関係がよくなったと感じている。また、年間を通して「ありがとう貯金」を実施した。3学期は学級内だけでなく異学年の相手も意識できるように、縦割り班で感謝の気持ちを伝える場を設定し、交流を深められるようにする予定である。保護者アンケートにも意見が寄せられているように、あいさつの向上が課題である。自分だけでなく相手も気持ちよと感じられるあいさつを目指し、具体的な姿としてあいさつの仕方がよい児童を全校で紹介して賞賛するなど、取組の工夫をしながら進めていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価日	
			前期	年度
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(9) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・「さくらんジャーのやくそく」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導	3	3
	(10) 美しい心を育むあいさつ運動・ボランティア活動	・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン)・ボランティアデー(毎月25日)によるボランティアの奨励・ありがとう貯金		
	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、さわやか朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的な活動の助長・いいの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・先生と話そう期間の設定・問題行動などの早期解決・日常の教育相談活動等・一日一声一触の実施	4	4
	(13) 安全・安心な基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日・朝の交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

【4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり に関するデータ】

- (9)(10)「釈迦内小のやくそく」
- 「さくらんジャーの合い言葉」を意識して、校内のルールやマナーを守ることができましたか。
- 学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせるために「さくらんジャーの合い言葉」を決めていますが、あいさつや交通ルールなど、子どもたちに身に付いていると思いますか。
- 「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできているか。

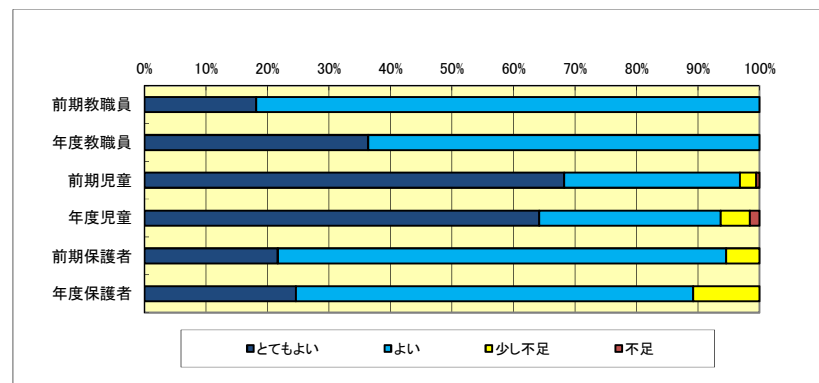


【避難訓練後に全校で安全面の確認】



【5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ】

- ふだんの授業や学年での活動、係や当番活動、委員会活動(4～6年)を通して、自分や友だちのよいところを見つけたりすることができましたか。
- ありがとう貯金(B・Bカード)で自己肯定感を高めたり、係や委員会活動を通して自己有用感を高めたりして、一人一人が安心して学ぶことができる学校づくりを目指していますが、そうなっていると思いますか。
- 先生と話そう期間や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできているか。



【いいの日(縦割り班活動)】



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	前期	良好	良好	一つ一つの取組には課題があるかも知れないが、総合的に見て学校の取組はよくなされている。今後も計画通りに進めてほしい。メディアコントロールについて、メディアをストップすることはできないが、子どもの生活に影響が出ない程度に付き合っている力を身に付けさせてほしい。
	年度	良好	良好	健康的な生活習慣づくりに向け、運動習慣が身に付いてきているようだ。メディア教育、食育教育については、引き続き指導をお願いしたい。

【前期(→年度)】6(14)(15)について→栄養教諭による食育指導を3学年で実施、食事の大切さに気付くことができた。他学年では2学期に実施予定である。集会で手洗いの仕方を確認したり、委員会の呼びかけでハンカチ調べをしたりした。学校歯科医や養護教諭による歯みがき指導を2学期に計画している。大館市一斉のメディアコントロール週間も2学期に実施予定である。7(16)(17)について→マラソン運動では、がんばりカードを活用したり体育委員会から賞状を発行したり、記録会を行ってメダルを授与したりしたことによって、自主的な体力づくりの意識を高めることができた。後期はなわとび運動の実施によって、児童の意識を高め、体力向上を図りたい。

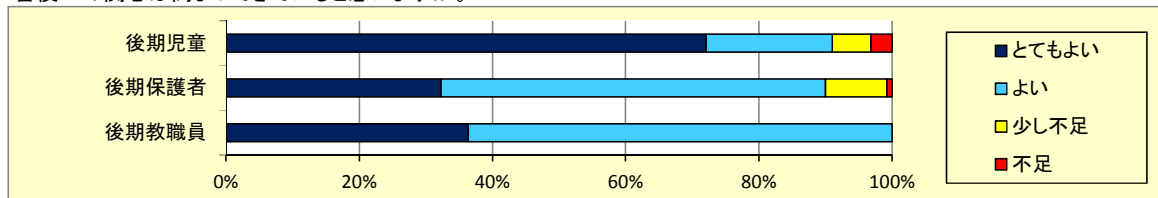
【年度(→次年度)】6(14)(15)について→アンケート結果をもとにしてメディアコントロール週間に保健給食委員会が学級を回って、学級の実態に応じた呼びかけを行った。手洗い指導を実施したことによって児童の手の清潔についての意識が高まり、手洗いやアルコール消毒、ハンカチの携帯をしっかりと行うようになった。7(16)(17)について→がんばりカードを使ったなわとび運動や体育委員会主催のなわとびチャンピオン大会を実施し、賞状を授与したことにより、児童のなわとびや体力作りへの意識がより高まった。コロナの影響で体育委員会主催のポッチャ大会が中止になったり、なわとび運動ができない日があったりしたため、次年度はあらかじめコロナによる中止や変更に対応できるように計画を立てたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	健康状態の把握及び指導(歯磨き、手洗い、メディアコントロール指導など) 清掃指導	4	4
	(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、栄養教諭とのTT		
7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの実施・活用	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施 データ分析と各学年の重点強化	4	4
	(17) 体育行事の充実	目標を持たせた事前事後指導		

○児童 □保護者 ■教職員

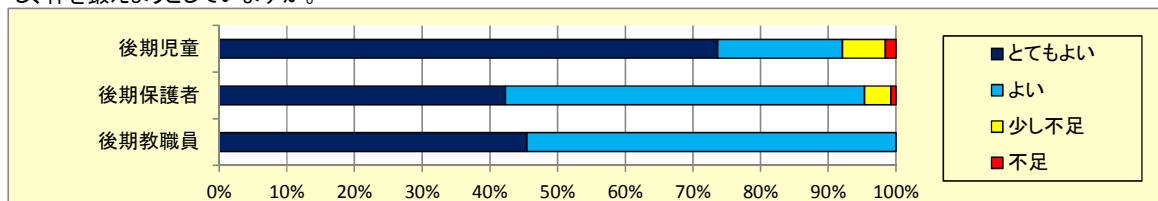
【6(14)(15)健康的な生活習慣に関するデータ】

○歯みがき、手洗い、ハンカチの持ち歩きに気を付けると共に、給食を好き嫌いせずに食べるなど、健康に気づかうことができませんでしたか。
 □■栄養教諭による食育指導やメディアコントロール週間の実施、ハンカチ携帯の呼びかけなどによって、お子さんの健康習慣への関心は高まってきていると思いますか。



【7(16)(17)体づくりに関するデータ】

○なわとびや外遊びなど進んで体力づくりをすることができましたか。
 □■学校は、体力向上のためにマラソンやなわとびタイムの実施、外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



メディアコントロール呼びかけ(保健給食委員会)



なわとびチャンピオン大会(4年生)



学校評価Aと学校関係者評価の区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況		自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
子どもたちが共感的・協働的に学び合う学び合う授業づくりを行っている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	学力差はあるだろうが、物事にしっかり向かえる姿勢づくりをがんばってほしい。図書室の整備など環境づくりを進めることで、子どもたちの関心も変わってくる。今後もハードの充実に期してほしい。家庭学習ノート、6年生の取組が素晴らしい。その取組を全学年に広めてほしい。また、例として、児童玄関にコピーを掲示するなど、保護者を意識したアピールにも取り組んでほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	読み聞かせや月いちのおうち読書等、本に親しむため家庭と連携した指導がなされている。今後も、読書に向かえるよう環境づくりのプロデュース(家庭への働きかけ)をお願いしたい。学習については、学習状況調査やCRTを分析し、職員間で情報を共有し実践に結び付けてほしい。

学校評価の概要と学校の改善策

【前期(→年度)】8(18)に関して一学年毎に「家庭学習の手引き」を作成し、毎日の見届け・励まし等を実施してきた。PTAに合わせたノート展を実施し家庭への啓発を図ったり、北陽中から参考になるノートを借りたりして、家庭学習の定着を図っている。よいノートを紹介したり内容を示したりして、家庭学習の内容の充実につなげたい。8(19)に関して一朝・屋2回の読書タイムでじっくりと本に向き合う時間を確保したり月1回の週末読書を行ったりしている。6月の読書強調月間では、目標冊数やページ数を達成できた児童が多かった。利用しやすい図書室の整備を進め、読書への関心を高めていきたい。9(20)に関して一学習の見直しをもって取り組めるよう、子どもたちとともに学習課題を作ったり、ふり返りの視点を明確にしたりして、授業を進めることを大切にしている。声の大きさや反応などの学習規律を身に付け、主体的に学ぶ意欲を高めることが、自分の考えをもち、互いに学び合う姿につながるのではないかと考える。教師自身が一人一人の考えを認め・ほめ・価値付けることで自信をもたせたり、学びの様子を具体的に取組んだりしていくことで、深い学びにつなげていきたい。

【年度(→次年度)】8(18)に関して「学習のやくそく」は、個人・学級全体で確認し、基本的な学習習慣の徹底を図った。反応や姿勢など児童の意識が高まり、学習に集中して取り組む姿が見られた。家庭学習の充実として、ノートとプリント学習を並行して進め、学習内容の定着を図っている。3学期は、家庭学習ノートの質を高めていけるように、上学年のノート展を見る機会を設定している。8(19)に関して11月から読み聞かせボランティアを活用したり、12月から電子書籍が読めるサービスを試験的に導入したりした。電子書籍の活用は、児童から人気の本が読めると好評で、読書への抵抗感が薄くなっている。今後は、新しい本を整備し、読書の楽しさを実感できるように整備したい。9(20)に関して「総合的な学習の時間や生活科の授業は好きか」に対して、好きと感じている児童が多かった。異学年との関わりや地域や外部の方から学ぶことの楽しさを実感できたといえる。ただ、「自分の考えを伝える」ことが課題となっており、ペアやグループなど少人数の中で話すことに慣れ、話すことに自信をもてるように指導を継続していきたい。9(21)に関して一学習状況調査やCRT検査に向けて、パワーアップの時間を設定し、基礎学力向上に取り組んできた。全職員で分析結果や傾向を共有し、定着が十分でない内容については回復指導を行い、次年度に生かしたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成 ・主体的な家庭学習の奨励 ・「お宝Myノート」の紹介	3	4
	(19) 読書活動の充実	・図書室の活用 ・週末読書 ・読み聞かせなど		
9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けた力を明確にした授業構想 ・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、探究の場の設定(ひまわりタイム) ・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実	3	3
	(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導		

【8(18)学習習慣の形成のデータ】

基本的学習習慣の形成

○家庭学習(一人勉強・宿題)を続けて学習することができましたか。

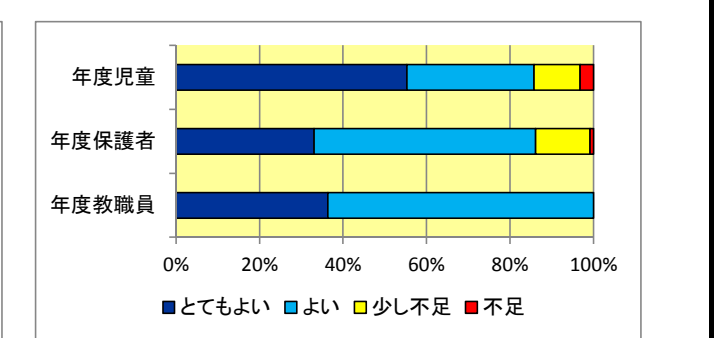
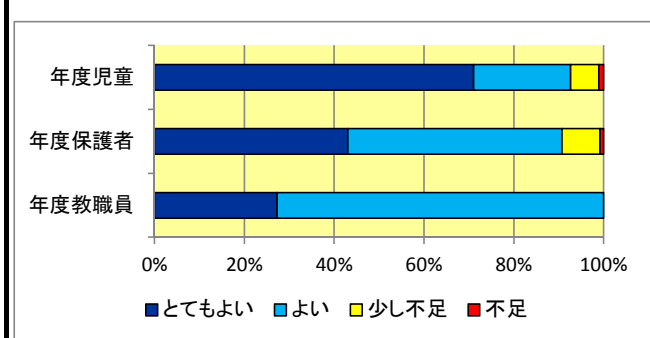
□■学校は、学習習慣の形成として、「学習のやくそく」や「家庭学習の手引き」を活用し、基礎学力の向上を目指していますが、子どもたちは、一人勉強やプリント学習など、継続して学習する習慣が身に付いていますか。

【8(19)読書活動の充実のデータ】

読書の奨励

○図書館を利用したり、進んで読書をしたりができましたか。

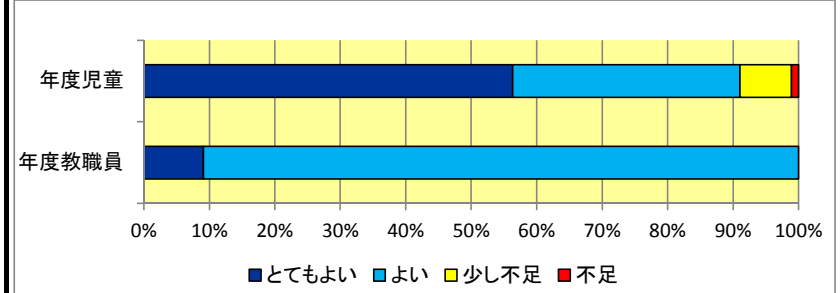
□■学校は、読書を奨励するために、朝や屋の読書タイムの実施や月一回のおうちで読書の実施、外部図書館との連携を図った取組によって、子どもたちの読書への関心は高まってきていると思いますか。



【9(20)確かな学力に関わるデータのデータ】

○自分の考えを伝えたり、友達のことを聞いたりして、学び合うことができましたか。

■研究部や学習部の計画のもと、日々の授業や研究授業で学び合い、生き生きと表現する授業づくりになっていますか。



【タブレットを活用した学び合いの授業の様子】

令和4年度 学校評価一覧		大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)						
学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成		重点 なりたい自分に向かって 前向きに挑戦する子ども 2022 合言葉「ありがとう」						
人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目	自己評価A (上段:前期) (下段:年度)	学校関係者評価 (上段:前期) (下段:年度)	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B (前期)	自己評価B (年度)
	I	学校運営と保護者・地域との連携 (教頭・事務)	おおむね良好	おおむね良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	・定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	3
(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理						・学年・学級会計事務の効率化 ・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修		
II	特色ある学校づくり (教務・ひまわりPT)	良好	良好	2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日の実施	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログ、フェイスブックでの発信 ・諸行事の案内	3	4
					(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
III	児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)	良好	良好	3 ふるさとつながるひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント	4	4
					(7) なりたい自分をイメージできる活動	・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)		
IV	健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育指導部)	良好	良好	4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(9) 「意識化ー見取りー称揚ー定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・生活のきまり「さくらんジャーの合言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・日常の言葉遣い指導	3	3
					(10) 美しい心を育むあいさつ運動・自他のよさを見付ける活動	・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン) ・にっこりの日(毎月25日)によるありがとう貯金、いいとこみつけ活動の奨励		
V	児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)	おおむね良好	おおむね良好	5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいなの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励	3	4
					(12) 自己有用感をもてる学年・学級経営	・先生と話そう期間の設定 ・問題行動などの早期解決 ・日常的教育相談活動 ・一日一声一触れの実施		
VI	健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育指導部)	良好	良好	6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	・健康状態の把握及び指導(歯磨き・手洗い・メディアコントロール指導など) ・清掃指導	4	4
					(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	・食育指導、栄養士とのTT		
VII	健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育指導部)	良好	良好	7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施 ・データ分析と各学年の重点強化	4	4
					(17) 体育行事の充実	・目標を持たせた事前事後指導		
VIII	自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	おおむね良好	おおむね良好	8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成 ・主体的な家庭学習の奨励 ・「お宝Myノート」の紹介	3	4
					(19) 読書活動の充実	・図書を活用 ・週末読書 ・読み聞かせなど		
IX	自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	おおむね良好	おおむね良好	9 確かな学力	(20) 主体的に学び、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・わらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究場の設定(ひまわりタイム) ・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実	3	3
					(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置 ・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟 ・各種検査の分析と回復指導		